

東日本大震災被災地の初等教育を支援

本学教員が出張講義(理科実験)を実施

日程：9 月 2 日（月）～ 6 日（金） 場所：宮城県石巻市立貞山小学校ほか

関西大学では、本学教員による東日本大震災被災地における小学校へ出張講義（理科実験）を、下記のとおり実施します。

この取組みは、2011 年 9 月に本学と石巻市教育委員会が連携・協力して、被災地の小学校への理科教育支援として出張講義を実施したことを受け、昨年・一昨年に引き続き今年度も石巻市教育委員会からの要請を受けて実施するものです。

本学では、これまでも大学周辺の小学校へ出張講義を実施しています。本年度春学期には大阪府内小学校へ出張講義を実施し、また、夏期学休期には理工系学部、大学コンソーシアム大阪などの主催で、多くの理科実験の体験行事が行われました。

このたびの出張講義は、東日本大震災復興協力の一助として、被災地での初等教育の支援、近年問題となっている理科離れの抑制、学習意欲の維持のみならず、被災地の方々や将来を担う小学生を元気づける機会になるものと期待しています。

記

- 1 日 程 9 月 2 日（月）～ 6 日（金）
- 2 場 所 宮城県石巻市立貞山小学校、向陽小学校、雄勝小学校、蛇田小学校
- 3 講 師 化学生命工学部 河原 秀久 教授
山出 和弘 専任講師
坂元 仁 特任助教
システム理工学部 倉田 純一 准教授
- 4 対 象 小学生

以 上

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 広報室広報課 担当: 石田、依藤

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■ 東日本大震災被災地における小学校への出張講義実施概要

1. 背景

本年度春学期に大阪府内小学校への出張講義を実施し、また、夏期学休期には理工系学部、大学コンソーシアム大阪などの主催で、多くの理科実験の体験行事が行われました。特に、大阪府高槻市内での小学校の出張講義では、本格的な実験器具を持ち込んでの講義実施が教諭・児童・生徒の関心を高め、受講態度は非常に熱心で、実施希望学校数も年々増加しています。

このように、種々の理科教育支援事業が実施される地域がある一方で、被災地、特に沿岸地域の学校では多くの施設が被災しており、公立小中学校での正規授業では理科実験の機会が全くないのではないかと懸念されていました。

このような中、2011年・2012年9月に、東日本大震災被災地における理科教育支援として同市内の小学校への出張講義を石巻市教育委員会と連携・協力して実施しました。今年度についても、石巻市教育委員会から理科教育支援実施の要請を受け、昨年・一昨年に引き続き出張講義を実施することとなりました。

2. 目的

- ・小学校での出張講義を実施し、被災地での初等教育を支援すること。
- ・特に、設備の整備の目処が付かない理科実験環境を憂慮し、理科に関する授業内容として理科離れを抑制すること。

3. 期待される効果

- ・被災地の日常的な理科授業が行えない状況で、実験を通して理科の楽しさを体験することによって、教科としての理科の意義を児童・生徒に理解してもらう。
- ・続く高等教育の重要性に気付いてもらい、学習困難な地域であっても生徒の学習意欲の維持につなげる。

4. スケジュール・実施場所

	学校名	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時
9月2日(月)	移動、現場下見、準備						
3日(火)	貞山小		5年①B	4年①E		6年①②F	
					5年②B		
4日(水)	向陽小		5年①B	4年①②E		4年③E	
					5年②B	5年③B	
5日(木)	雄勝小	4年①E		5年①B		6年①A	
6日(金)	蛇田小	5年①B	5年②B	5年③B	5年④B		

※数字(①・②・③・④)は学級、アルファベット(A・B・E・F)は実施内容を示す

5. 内 容

A・・・植物のからだのはたらき【河原秀久教授】

B・・・植物の発芽と成長【河原秀久教授】

E・・・動物のからだのつくりと運動(4年生)【倉田純一准教授】

F・・・動物のからだのつくりと運動(6年生)【倉田純一准教授】

6. 実施者：化学生命工学部 河原秀久教授、山出和弘専任講師、坂元仁特任助教 システム理工学部 倉田純一准教授